

2024年3月期第2四半期 決算説明会

2023年11月15日(水)



本日の内容

- ① 2024年3月期第2四半期決算概況
- ② 2024年3月期の業績見通し
- ③ 中長期的経営戦略
～中期経営計画2023-2025 「次代を創る」～

① 2024年3月期第2四半期決算概況

東邦HD 連結 P/L

(単位:百万円)

	2023年3月期第2四半期		2024年3月期第2四半期		
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前同 増減率(%)
売上高	681,470		734,846		7.83
売上総利益	54,658	8.02	56,635	7.71	3.62
販売管理費	48,823	7.16	50,142	6.82	2.70
営業利益	5,835	0.86	6,492	0.88	11.26
経常利益	7,392	1.08	7,945	1.08	7.48
四半期純利益※	3,598	0.53	8,782	1.20	144.08

※親会社株主に帰属する四半期純利益

東邦HD 連結 B/S

(単位:百万円)

	2023年3月期		2024年3月期第2四半期			主な増減要因
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	増減額	
流動資産	533,519	74.59	620,393	77.42	86,874	現預金 51,652増加 売掛金等 38,349増加 商品及び製品 2,975減少
固定資産	181,768	25.41	180,986	22.58	△782	有形固定資産 1,651減少
資産合計	715,288	100.00	801,379	100.00	86,091	
流動負債	440,188	61.54	502,754	62.74	62,566	買掛金等 80,543増加 一年内償還予定の社債 20,003減少
固定負債	32,183	4.50	53,483	6.67	21,300	社債 22,103増加
負債合計	472,372	66.04	556,237	69.41	83,865	
純資産	242,916	33.96	245,142	30.59	2,226	利益剰余金 7,734増加 自己株式 5,971増加 (△)
負債純資産合計	715,288	100.00	801,379	100.00	86,091	

自己資本比率 2023年3月期 33.93% 2024年3月期第2四半期 30.56%

医薬品卸売事業 P/L

- がん治療薬などの新薬・スペシャリティ医薬品の伸長や、新型コロナウイルス感染症の第9波ともいわれる更なる流行拡大に伴い治療薬の売上が拡大
- 取扱卸限定製品の売上高 988億円（対前同21%増）※コロナ治療薬を除く
- 顧客支援システムの売上総利益 20億円（対前同5.5%増）

（単位：百万円）

	2023年3月期第2四半期		2024年3月期第2四半期		
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前同増減率 (%)
売上高	656,571		709,414		8.05
売上総利益	37,140	5.66	38,955	5.49	4.89
販売管理費	32,057	4.88	32,143	4.53	0.27
営業利益	5,082	0.77	6,811	0.96	34.02

カテゴリー別売上構成比および妥結率

カテゴリー別売上構成比

	2022年4月 -2022年9月	2023年4月 -2023年9月
新薬創出加算対象品	44.4%	51.0%
特許品・その他	27.0%	26.5%
長期収載品	16.8%	11.4%
GE品	11.9%	11.2%

妥結率

	2019年 9月末	2020年 3月末	2020年 9月末	2021年 3月末	2021年 9月末	2022年 3月末	2022年 9月末	2023年 3月末	2023年 9月末
金額ベース	99.7%	99.7%	95.6%	100.0%	95.0%	100.0%	95.4%	98.6%	95.2%
軒数ベース	100.0%	99.8%	80.6%	100.0%	71.1%	100.0%	69.6%	100.0%	69.3%

調剤薬局事業 P/L

- ・診療報酬改定への対応を進めるとともに、採算性に基づき9店舗を閉局または譲渡。3店舗を開局。
- ・患者様の受診抑制の回復に伴い処方箋応需枚数が増加

(単位:百万円)

	2023年3月期第2四半期		2024年3月期第2四半期		
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前同増減率 (%)
売上高	45,089		46,598		3.35
売上総利益	15,736	34.90	15,871	34.06	0.86
販売管理費	14,857	32.95	14,976	32.14	0.80
営業利益	878	1.95	895	1.92	1.94

■調剤薬局店舗数 (2023年9月30日時点)

	連結子会社	非連結子会社	関連会社	合計
東邦HD傘下	4社 76店舗	8社 53店舗	2社 16店舗	14社 145店舗
ファーマクスター傘下	6社 474店舗	10社 53店舗	2社 87店舗	18社 614店舗
合計	10社 550店舗	18社 106店舗	4社 103店舗	32社 759店舗

② 2024年3月期の業績見通し

東邦HD 連結 2024年3月期の業績見通し

期初公表からの変更なし

(単位:百万円)

	2023年3月期		2024年3月期計画			
	実績	売上比 (%)	計画		前期比	
			金額	売上比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	1,392,117		1,325,000		△67,117	△4.82
売上総利益	114,366	8.22	113,400	8.56	△966	△0.84
販売管理費	98,000	7.04	101,900	7.69	3,900	3.98
営業利益	16,365	1.18	11,500	0.87	△4,865	△29.73
経常利益	19,176	1.38	13,800	1.04	△5,376	△28.04
当期純利益※	13,630	0.98	12,300	0.93	△1,330	△9.76

2024年3月期第2四半期	
実績	通期計画に 対する進捗率 (%)
734,846	55.46
56,635	49.94
50,142	49.21
6,492	56.45
7,945	57.57
8,782	71.40

※親会社株主に帰属する当期純利益

医薬品卸売事業 2024年3月期の業績見通し

(単位:百万円)

	2023年3月期		2024年3月期計画			
	実績	売上比 (%)	計画		前期比	
			金額	売上比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	1,340,318		1,273,000		△67,318	△5.02
売上総利益	78,463	5.85	77,500	6.09	△963	△1.23
販売管理費	64,468	4.81	65,500	5.15	1,032	1.60
営業利益	13,995	1.04	12,000	0.94	△1,995	△14.26

2024年3月期第2四半期	
実績	通期計画に 対する進捗率 (%)
709,414	55.73
38,955	50.26
32,143	49.07
6,811	56.76

調剤薬局事業 2024年3月期の業績見通し

(単位:百万円)

	2023年3月期		2024年3月期計画			
	実績	売上比 (%)	計画		前期比	
			金額	売上比 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	92,346		92,400		54	0.06
売上総利益	32,160	34.83	32,100	34.74	△60	△0.19
販売管理費	29,728	32.19	30,200	32.68	472	1.59
営業利益	2,431	2.63	1,900	2.06	△531	△21.84

2024年3月期第2四半期	
実績	通期計画に 対する進捗率 (%)
46,598	50.43
15,871	49.44
14,976	49.59
895	47.11

配当について

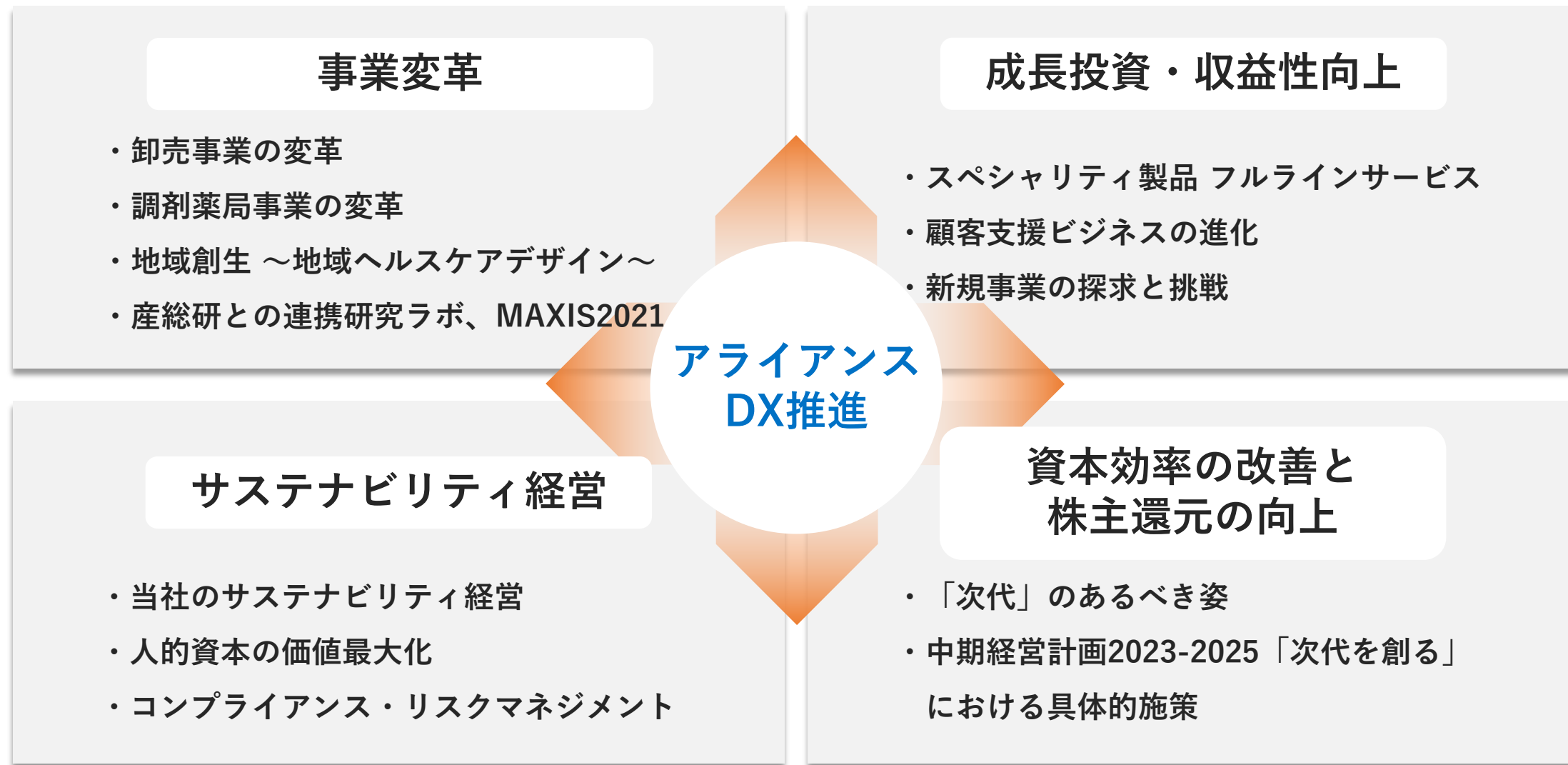
	中間	期末	年間
2022年3月期	15円	15円	30円
2023年3月期	16円	16円	32円
2024年3月期 (予想)	18円 (普通配当 16円 記念配当 2円)	18円 (普通配当 16円 記念配当 2円)	36円 (普通配当 32円 記念配当 4円)

(*)2024年3月期配当については、中間配当金、期末配当金とも普通配当16円に創立75周年記念配当2円を加えて各18円とし、年間配当金は36円とさせていただきます。

3 中長期的経営戦略

～中期経営計画2023-2025 「次代を創る」～

■ 中期経営計画2023-2025 「次代を創る」の基本方針および具体的施策



■卸売事業の变革

中期経営計画
発表

- ✓ 「営業本部」に医薬・検査薬・メディカル・薬粧等を統合
- ✓ 「営業戦略本部」を新設し、各戦略部門を集約

組織再編

医薬と検査薬の融合戦略

- ① 営業、配送、物流、内勤の共同化
- ② 医薬MSと検査薬MSの連携
- ③ 検査薬市場の新規開拓

2023.4

2023.5

2023.7

2023.9

事業所統廃合

事業所数の変化 ※2023.9現在（2023.3との比較）

- ・拠点数：216（5減）
- ・営業所数：239（15減）

※拠点数には本社・物流センター含む

地域事情に沿った最適な
事業所体制への整備

営業・配送の役割の明確化

効率的な営業・配送体制

最適な要員配置

営業・配送業務のDX

新たな役割/職種の導入

働き方改革

地域ヘルスケアデザインの構築



■調剤薬局事業の変革

事業会社の再編

当中期経営計画期間内に、現在全国に27社ある事業会社の統合・再編を進め、管理機能の集約とシステム統合による機能強化を図る

✓ 10月1日付で事業会社2社を統合

採算性を重視した開局・閉局

✓ 当上期に3店舗を開局し、9店舗を閉局・譲渡

代沢プロジェクトに伴う事業所統合

✓ 分割販売拠点であるPFP代沢をPFP埼玉に統合

DXの推進

DXの積極的な推進による薬局業務効率化と患者様の利便性の向上

✓ 処方箋送信機能と電子お薬手帳を備えたポータルアプリ「共創未来 薬局けんこうナビ」を開発

処方箋送信機能アプリ

電子お薬手帳アプリ
ENIFvoice Coreからの
処方データが自動連携

その他の顧客支援
サービスアプリ

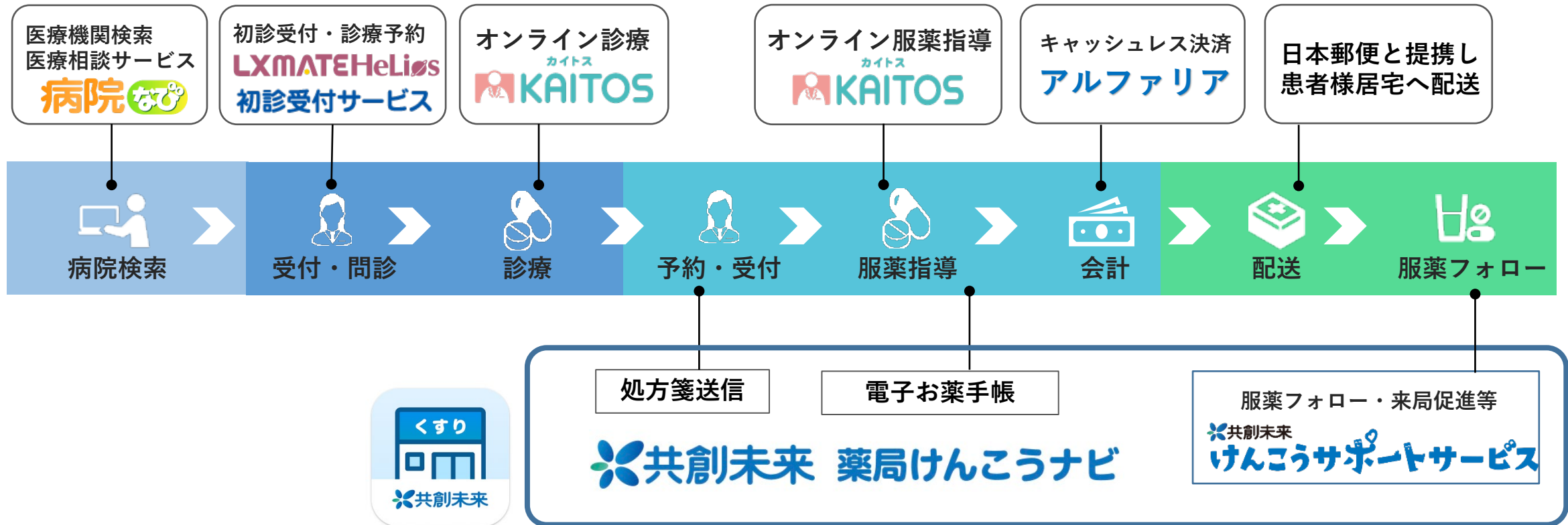


■ 患者様視点でのDXの推進



患者様

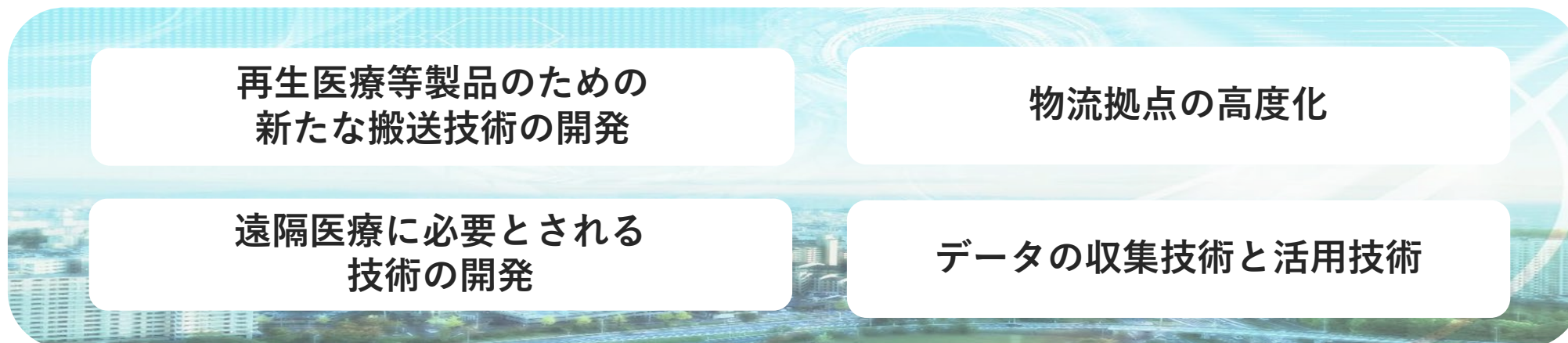
病院・薬局検索から、薬の受け取り・服薬フォローに至る全てのステージで患者様を支援



■ 国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）との共同研究 ～ユニバーサルメディカルアクセスの実現を目指す～



連携研究ラボを設立し4つのテーマで共同研究を実施



■ 「スペシャリティ製品 フルラインサービス」構築にむけて

〔市場変化〕

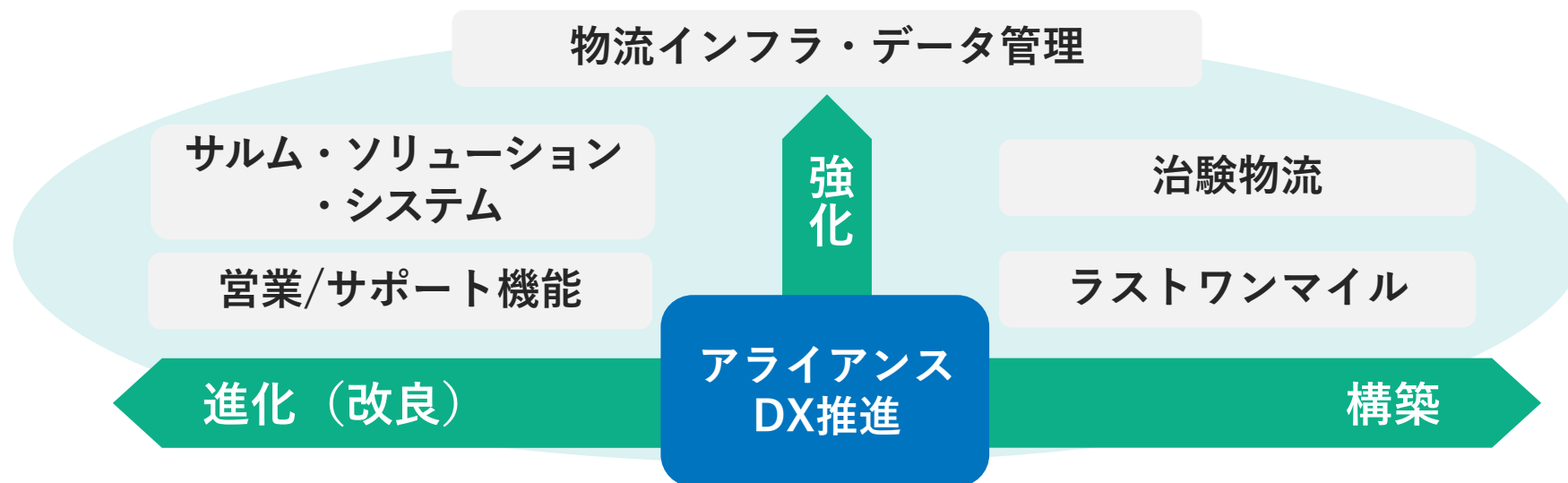
- モダリティの多様化（ニーズの多様化）
- スペシャリティ製品の拡大

〔求められる機能〕

BCP対応 流通在庫適正化
温度管理 営業/サポート 患者別管理

当上期での取り組み

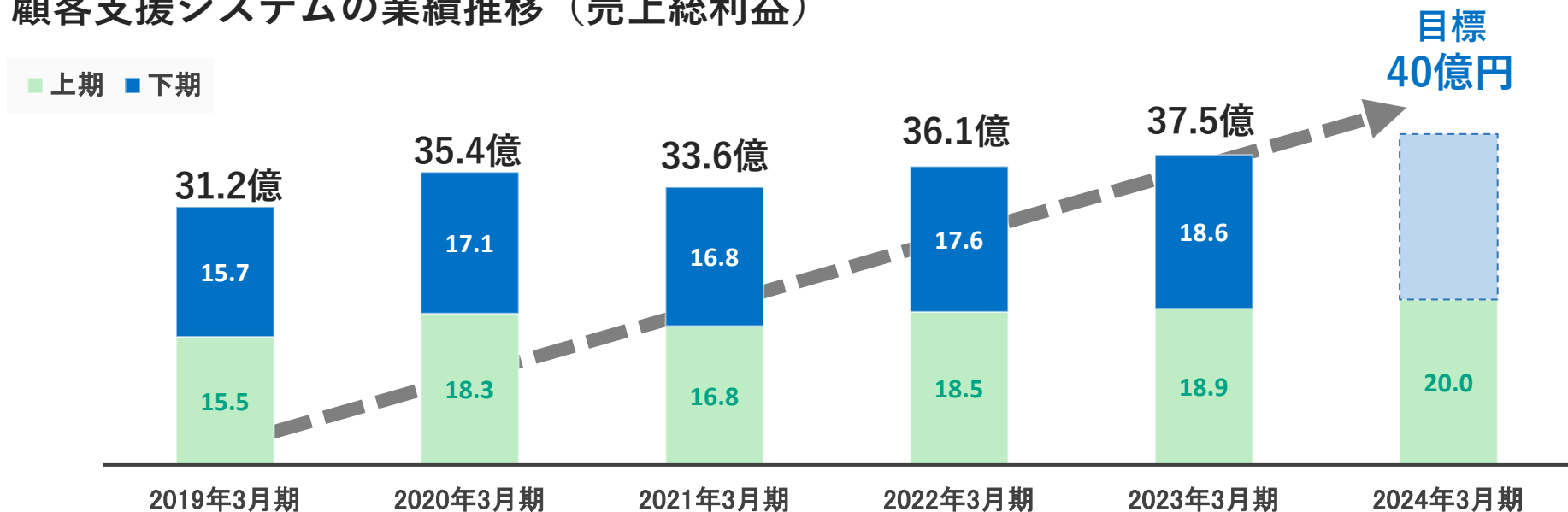
- 「医薬品供給における事業継続計画に関する提言書」の取り纏め
- 陸上自衛隊との協同防災訓練実施



治療を必要とする患者様に安心・安全に医療を提供する体制の構築への貢献

■顧客支援ビジネスの進化

顧客支援システムの業績推移（売上総利益）



メイサプロモーションシステムを含めた
フィービジネス全体の
上期実績は33億円

既存の顧客支援システムの進化

- LXMATE HeLiosクラウド版の開発
- ENIF(無料)からFutureENIF(有料)への切替を推進
- ENIFvoiceシリーズで培った音声認識技術の活用による新たなビジネスへの挑戦



アライアンスや社内プロジェクト
による新たな顧客支援ビジネスの
開発

MICIN

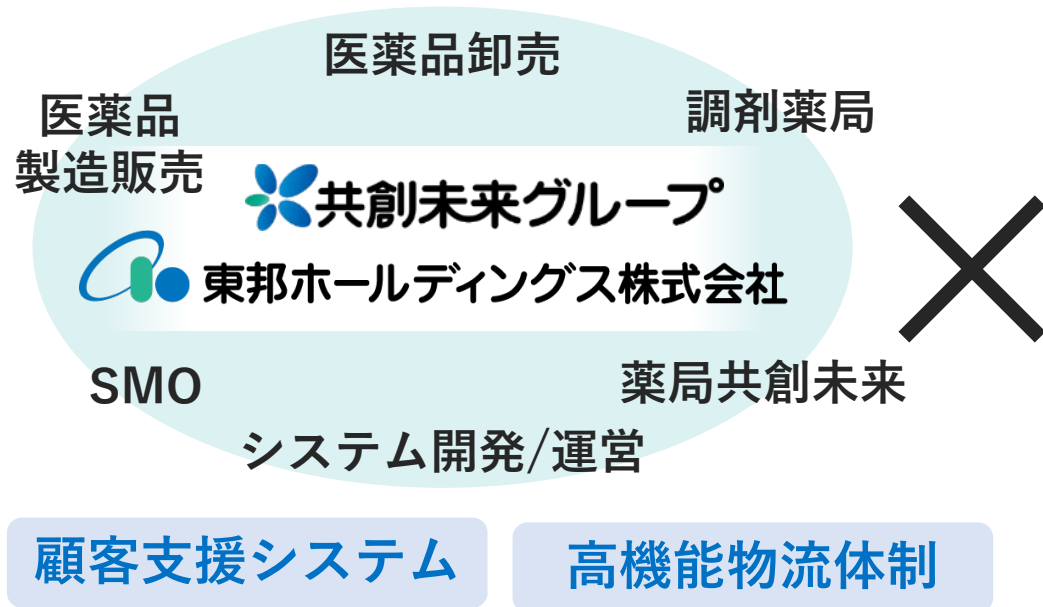
産総研

MAXIS

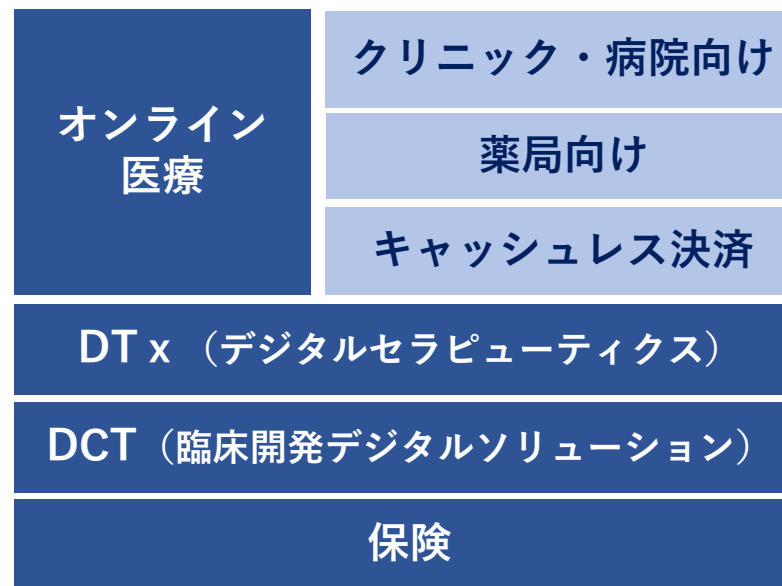
得意先向け
ポータルサイトの開発

■成長領域・新規事業への取組み

✓アライアンスによる顧客支援ビジネス進化への取組み



MICIN



- 既存システムとの融合と進化
- 新たな医療・ヘルスケアサービス開発
- ヘルスケアデータビジネス構築

✓グローバル市場・EC事業への取組み

⇒成長が期待される中国EC事業参入

✓バイオベンチャー企業との資本業務提携

⇒バイオ医薬品や再生医療等製品などスペシャリティ製品の開発支援と流通に向けた協業

■サステナビリティ経営



事業を通じた社会課題の解決への取り組みにより持続可能な社会の実現に貢献

脱炭素への取組み

- ・CO2排出量削減目標の設定

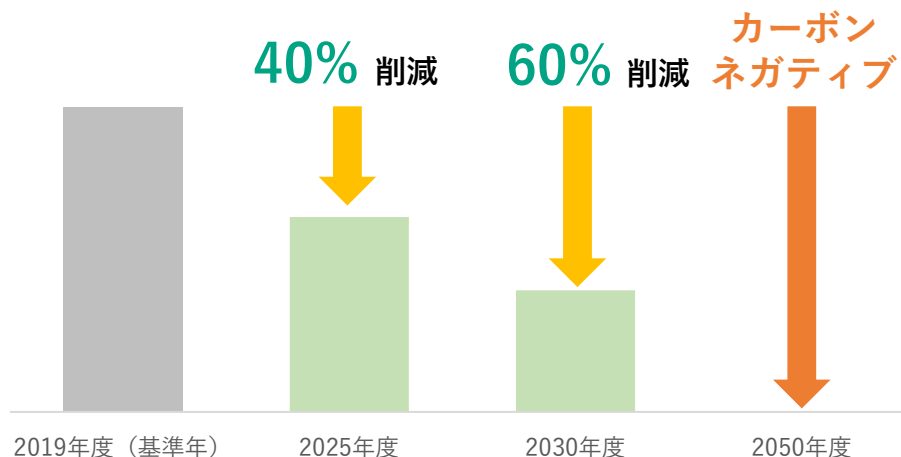


太陽光パネル



EV車

CO2排出量削減



- ・ペーパーレスの推進

本社機能移転に伴い、本社関連のペーパー80%削減を推進

安定供給・BCP

- ・製薬会社等の参画を得て「BCP体制構築検討会」を発足し、災害発生時の医薬品供給等における事業継続計画を検討。
→「医薬品供給における事業継続計画に関する提言書」として取りまとめ、今後、行政や自治体等に提出予定

人的資本・健康経営

人財育成/研修

研修の充実（外部講師による管理職研修、リスクリング）

人事制度の整備

中途採用の拡大、契約社員の正社員登用

働き方改革

平均定昇額のアップ、休日の見直し（完全週休2日制/夏季休暇の増加）、年間を通じたオフィスカジュアルの導入

健康経営の推進

推進体制の強化、従業員向け研修の実施

コンプライアンス

毎月全社員が「グループコンプライアンス研修」を受講

■資本効率の改善と株主還元の向上

中期経営計画2023-2025「次代を創る」における具体的施策

1) 投資計画	380億円	3) 配当	DOE2%を見据え、安定的に向上
2) 自己株式取得	300億円以上	4) 政策保有株式	保有企業先との十分な対話を得たうえで継続的に縮減

当上期の主な実績

●自己株式の取得

株主還元の充実および資本効率の向上を図るため自己株式取得を実施

- ・ 5月31日 60億円 ※6月1日に終了
- ・ 9月15日 60億円（上限） ※2024年3月31日まで（10月末時点 取得株式数：389,100株/取得価額：1,262,246,600円）
上記により取得した自己株式の全株式を消却（消却予定日：2024年3月31日まで）

●政策保有株式

資産の効率化及び財務体質の強化を図るため、政策保有株式を売却
売却額：70億円

参考資料

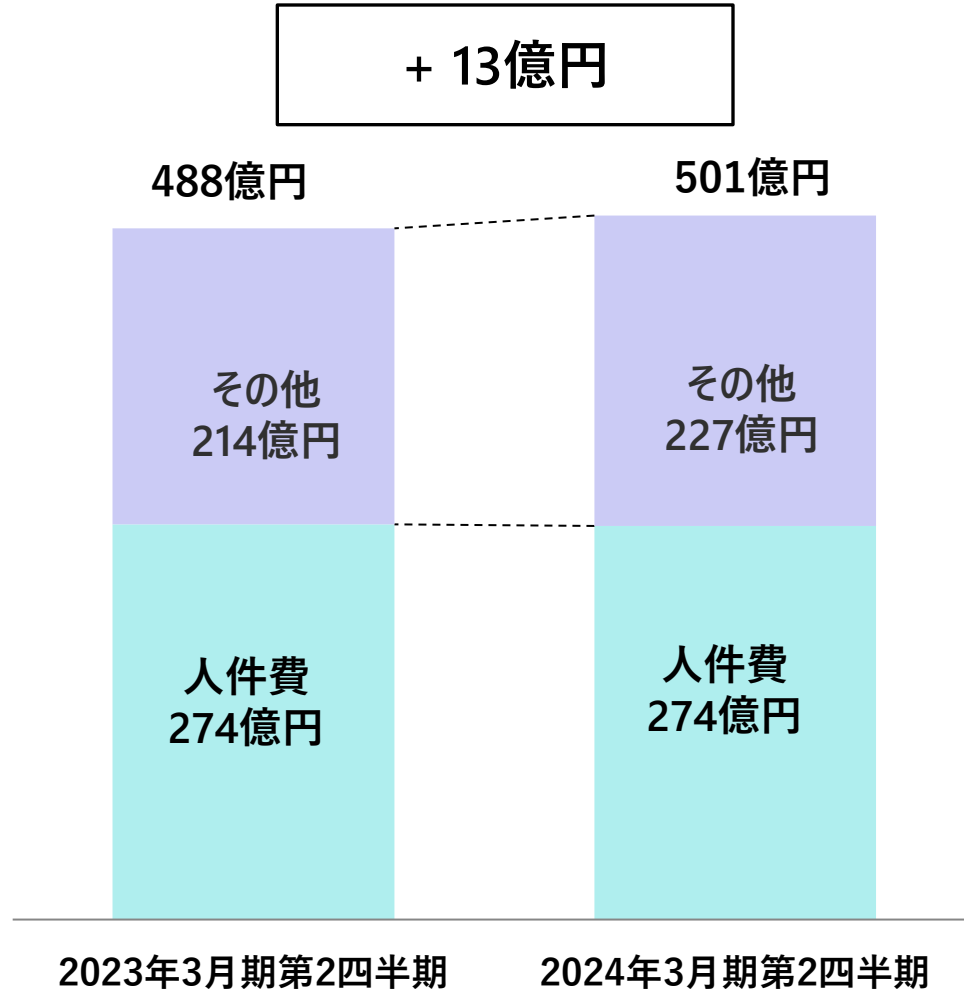
キャッシュフロー

(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	2024年3月期第2四半期の主な増減要因	
現金(同等物)の 期首残高	90,014	81,839		
営業活動	10,693	53,933	税引前利益	13,029
			減価償却費	3,098
			売上債権の増加	△36,996
			棚卸資産の減少	3,237
			仕入債務の増加	79,022
			法人税等の支払額	△4,765
投資活動	△407	3,515	有形固定資産の取得	△966
			無形固定資産の取得	△792
			投資有価証券の取得	△1,955
			投資有価証券の売却	6,977
財務活動	△2,960	△5,775	長期借入金の返済	△1,335
			社債の発行	22,110
			社債の償還	△20,000
			自己株式の取得	△6,001
現金(同等物)の 期末残高	97,855	133,516	当期増減額	51,676

販売管理費の前年比分析

【前年同期比】



その他 +13.5億円

医薬品卸 +12億円

不動産賃借料 +2.9億円

支払手数料 +1.9億円

減価償却費 +1.8億円

水道光熱費 +0.7億円

資産除去債務 +0.5億

調剤薬局 +1.5億円

売上増による仮払消費税の未控除費用 +1.4億円

人件費 ▲0.5億円

設備投資と減価償却費

【設備投資】

2023年3月期第2四半期	2024年3月期第2四半期	2024年3月期
実績：946百万円	実績：1,647百万円	年間計画：6,791百万円
① 「TBC北陸」 システム・備品 208百万円 ② 医薬品卸営業所 新築移転等 320百万円 ③ その他 418百万円 うち、 基幹システムサーバ入替 99百万円 WMS端末入替等 28百万円	① 医薬品卸営業所 新築移転等 589百万円 ② 基幹システムサーバ入替 459百万円 ③ その他 599百万円 うち、 システム開発等 190百万円 IP電話の入替等 156百万円	① 東京ミッドタウン八重洲移転 入居工事・システム・什器備品等 970百万円 ② 医薬品卸営業所 新築移転等 2,506百万円 ③ その他 3,315百万円 うち、 基幹システムサーバ入替 474百万円 物流センターWMS改修・クラウド化等 923百万円

【減価償却費】

2023年3月期第2四半期	2024年3月期第2四半期	2024年3月期
2,746百万円	2,934百万円	6,139百万円

主な顧客支援システムの実績

ENIFvoiceシリーズ



音声入力を導入し、薬局での服薬指導・薬歴作成の効率化やスキルアップを支援。また、ENIFvoice SPの機能を更に進化させたENIFvoice SP+A／ENIFvoice Coreはクラウドサーバを経由して端末間や店舗間でのデータ共有が可能。

販売数

16,800台

初診受付サービス



2012年リリース。医療機関のホームページや医療機関検索サイトから初診の患者さんが簡単に診療予約ができる環境を構築。再診受付や人間ドックの予約も可能。

契約軒数

13,451軒

薬局本部システム ミザル



複数の店舗を持つ調剤薬局の本部が各店舗の売上や在庫のデータをウェブブラウザ上から一元管理できるクラウド型薬局本部システム。

販売数（受注ベース）

3,228店舗

医薬品発注・情報端末機 ENIF



医薬品をはじめとした発注業務を、飛躍的に効率化させるシステム。販売包装単位・調剤包装単位でのGS1データバーのスキヤンが可能で、簡単・正確・スピーディーに発注可能。

導入台数

27,021台

2023年10月末現在



全ては健康を願う人々のために



【IR担当窓口】 経営戦略本部
E-mail: info@so.tohoyk.co.jp
<https://www.tohohd.co.jp>

【注記】

本資料に掲載されている東邦ホールディングス株式会社の現在の計画、見通し、戦略、想定等のうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から東邦ホールディングス株式会社の経営陣の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみにも全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。また、資料に含まれる医薬品に関する情報は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。